



2019女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 1日 日曜日	試合コード	16
開催地 (都道府県名)	熊本県	会場名	八代市総合体育館

結果	A	スコア		B
	カザフスタン	21	前半	30
	11-13			
	後半			
	10-17			
	第一延長前半			
	—			
	第一延長後半			
	—			
	第二延長前半			
	第二延長後半			
	7m c			
	—			
	—			
KAZ			MNE	

戦況	見出し	KAZが健闘するもMNEが後半突き放す
	前半	KAZのスローオフで始まったこの試合は、序盤から激しい攻防となった。KAZはNO96とNO15のセンターからのミドルシュートで得点を挙げれば、MNEはNO77のサイドシュートと速攻で応酬し、互角の立ち上がりとなった。セットプレーから得点を重ねるKAZに対して、MNEは速い攻撃でシュートに持ち込む対照的な攻撃スタイルで、開始10分までは5対5と一進一退の攻防が続いた。両チームのGKの好守もあり、引き締まったゲームとなった。均衡を破ったのは、MNEのNO4の速攻とサイドシュート。一気に3得点し、主導権を握ったかに見えたが、KAZもGKのファイト溢れるプレーと粘り強い守りで食い下がった。その後もKAZは早いパス回しでサイドシュートなどで、MNEは速攻で得点をあげ、2点差で折り返す展開となった。
	後半	後半の立ち上がりは、MNEのNO66が倒れ込んだシュートから引き離しにかかるが、一段とパス回しが早くなったKAZが立て続けに得点し、14対15と1点差の攻防が続いた。KAZのNO96が退場となると、MNEは得意の速攻とサイドシュートで突き放しにかかった。しかし、MNEも立て続けに退場者を出し、KAZに反撃を許す結果となった。MNEはGKを下げて攻撃を試みたが、逆にKAZのNO4にボールを拾われシュート、無人のゴールに突き刺さった。またもや1点差となったが、KAZも退場者を出し、MNEの速い攻撃が決まり出した。その後は、速攻から、サイドシュートやカットイン、ミドルシュートで得点を重ね、終わってみれば9点の差がついた。KAZが健闘するも、最後はMNEが地力の差を見せた試合となった。



戦況作成者

河野彰寛